

浜松市土木工事共通仕様書 第8回改定 新旧対照表

ページ	(旧：令和3年4月版)	(新：令和4年4月版)																																								
2-1	<p style="text-align: center;"><b>第2編 材料編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 一般事項</b></p> <p><b>第2節 工事材料の品質及び検査（確認を含む）</b></p> <p>6. 受注者は、表1-1の工事材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。</p> <p>7. 受注者は、ポストテンションの、PC鋼線・PC鋼棒については、機械試験（引張試験）を各々1回（1片）行わなければならない。（追記）</p> <p>8. PC鋼線の試験はJIS Z 2241（金属材料引張試験方法）に準じて行い、試験結果を整備・保管し、監督員の請求があった場合には直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>表1-1 指定材料の品質確認一覧</b></p> <table border="1" data-bbox="439 930 1442 1879"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>確認材料名</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">鋼 材</td> <td>構造用圧延鋼材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレストレストコンクリート用鋼材（ポストテンション）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製ぐい及び鋼矢板</td> <td>仮設材は除く</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">セメント及び混和材</td> <td>セメント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>混和材料</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">セメントコンクリート製品</td> <td>セメントコンクリート製品一般</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート杭、コンクリート矢板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塗 料</td> <td>塗料一般</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">そ の 他</td> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td>試験練り立会い検査を実施した場合は除く</td> </tr> <tr> <td>薬液注入材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種子・肥料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薬剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場発生品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>盛土材料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>捨石、被覆石等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	確認材料名	摘 要	鋼 材	構造用圧延鋼材		プレストレストコンクリート用鋼材（ポストテンション）		鋼製ぐい及び鋼矢板	仮設材は除く	セメント及び混和材	セメント		混和材料		セメントコンクリート製品	セメントコンクリート製品一般		コンクリート杭、コンクリート矢板		塗 料	塗料一般		そ の 他	レディーミクストコンクリート		アスファルト混合物	試験練り立会い検査を実施した場合は除く	薬液注入材		種子・肥料		薬剤		現場発生品		盛土材料		捨石、被覆石等		<p style="text-align: center;"><b>第2編 材料編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 一般事項</b></p> <p><b>第2節 工事材料の品質及び検査（確認を含む）</b></p> <p>(削除)</p> <p>6. 受注者は、ポストテンションの、PC鋼線・PC鋼棒については、機械試験（引張試験）を各々1回（1片）行わなければならない。なお、JISマーク表示品については試験を省略できるものとする。</p> <p>7. PC鋼線の試験はJIS Z 2241（金属材料引張試験方法）に準じて行い、試験結果を整備・保管し、監督員の請求があった場合には速やかに提示するとともに、完成時に納品するものとする。</p> <p style="text-align: center;">(削除)</p>
区 分	確認材料名	摘 要																																								
鋼 材	構造用圧延鋼材																																									
	プレストレストコンクリート用鋼材（ポストテンション）																																									
	鋼製ぐい及び鋼矢板	仮設材は除く																																								
セメント及び混和材	セメント																																									
	混和材料																																									
セメントコンクリート製品	セメントコンクリート製品一般																																									
	コンクリート杭、コンクリート矢板																																									
塗 料	塗料一般																																									
そ の 他	レディーミクストコンクリート																																									
	アスファルト混合物	試験練り立会い検査を実施した場合は除く																																								
	薬液注入材																																									
	種子・肥料																																									
	薬剤																																									
	現場発生品																																									
	盛土材料																																									
	捨石、被覆石等																																									

## 第2章 土木工事材料

### 第3節 骨材

#### 2-3-3 アスファルト舗装用骨材

8. 路盤材に用いる鉄鋼スラグは、表2-9の規格に適合するものとする。

表2-9 鉄鋼スラグの規格

呼び名	修正 CBR (%)	一軸圧縮強さ (MPa)	単位容積質量 (kg/l)	呈色判定試験	水浸膨張比 (%)	エージング期間
MS	80 以上	—	1.5 以上	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上
HMS	80 以上	1.2 以上	1.5 以上	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上
CS	30 以上	—	—	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上

(追記)

- [注1] 呈色判定は、高炉徐冷スラグを用いた鉄鋼スラグに適用する。
- [注2] 水浸膨張比は、製鋼スラグを用いた鉄鋼スラグに適用する。
- [注3] エージングとは高炉徐冷スラグの黄濁水発生防止や製鋼スラグの膨張性安定化を目的とし、冷却固化した高炉徐冷スラグ及び製鋼スラグを破碎後、空気及び水と反応させる処理をいう。エージング方法には、空気及び水による通常エージングと温水または蒸気による促進エージングがある。
- [注4] エージング期間は、製鋼スラグを用いた製鋼スラグの通常エージングに適用する。ただし、電気炉スラグを3ヶ月以上通常エージングした後の水浸膨張比が0.6%以下となる場合及び製鋼スラグを促進エージングした場合は、施工実績などを参考にし、膨張性が安定したことを十分確認してエージング期間を短縮することができる。

2-9

## 第2章 土木工事材料

### 第3節 骨材

#### 2-3-3 アスファルト舗装用骨材

8. 路盤材に用いる鉄鋼スラグは、表2-9の規格に適合するものとする。

表2-9 鉄鋼スラグの規格

呼び名	修正 CBR (%)	一軸圧縮強さ (MPa)	単位容積質量 (kg/L)	呈色判定試験	水浸膨張比 (%)	エージング期間
MS	80 以上	—	1.5 以上	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上
HMS	80 以上	1.2 以上	1.5 以上	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上
CS	30 以上	—	—	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上
試験法	E001	E003	A023	E002	E004	

- [注1] 呈色判定は、高炉徐冷スラグを用いた鉄鋼スラグに適用する。
- [注2] 水浸膨張比は、製鋼スラグを用いた鉄鋼スラグに適用する。
- [注3] エージングとは高炉徐冷スラグの黄濁水発生防止や製鋼スラグの膨張性安定化を目的とし、冷却固化した高炉徐冷スラグ及び製鋼スラグを破碎後、空気及び水と反応させる処理をいう。エージング方法には、空気及び水による通常エージングと温水または蒸気による促進エージングがある。
- [注4] エージング期間は、製鋼スラグを用いた製鋼スラグの通常エージングに適用する。ただし、電気炉スラグを3ヶ月以上通常エージングした後の水浸膨張比が0.6%以下となる場合及び製鋼スラグを促進エージングした場合は、施工実績などを参考にし、膨張性が安定したことを十分確認してエージング期間を短縮することができる。

ページ	(旧：令和3年4月版)	(新：令和4年4月版)
2-15	<p><b>第5節 鋼材</b>  <b>2-5-7 溶接材料</b>            溶接材料は、以下の規格に適合するものとする。            JIS Z 3352 (サブマージアーク溶接(追記)用フラックス)</p>	<p><b>第5節 鋼材</b>  <b>2-5-7 溶接材料</b>            溶接材料は、以下の規格に適合するものとする。            JIS Z 3352 (サブマージアーク溶接及びエレクトロスラグ溶接用フラックス)</p>
2-18	<p><b>第6節 セメント及び混和材料</b>  <b>2-6-1 一般事項</b></p> <p>4. 受注者は、貯蔵中に塊状になったセメントを用いてはならない。また、湿気をうけた疑いのあるセメント、その他異常を認めたセメントの使用にあたっては、これを用いる前に試験を行い、その品質を確かめなければならない。(追記)</p> <p>7. 受注者は、貯蔵中に前項に示す分離・変質等が生じた混和剤やその他異常を認めた混和剤について、これらを用いる前に試験を行い、性能が低下していないことを確かめなければならない。(追記)</p> <p>9. 受注者は、貯蔵中に吸湿により固結した混和材、その他異常を認めた混和材の使用にあたって、これを用いる前に試験を行い、その品質を確かめなければならない。(追記)</p> <p><b>2-6-2 セメント</b></p> <p>3. 普通ポルトランドセメントの品質は、表2-19の規格に適合するものとする。</p>	<p><b>第6節 セメント及び混和材料</b>  <b>2-6-1 一般事項</b></p> <p>4. 受注者は、貯蔵中に塊状になったセメントを用いてはならない。また、湿気をうけた疑いのあるセメント、その他異常を認めたセメントの使用にあたっては、これを用いる前に試験を行い、その品質を確かめなければならない。ただし、保管期間が長期にわたると品質が変動する可能性があるので、長期間貯蔵したセメントは使用してはならない。</p> <p>7. 受注者は、貯蔵中に前項に示す分離・変質等が生じた混和剤やその他異常を認めた混和剤について、これらを用いる前に試験を行い、性能が低下していないことを確かめなければならない。ただし、保管期間が長期にわたると品質が変動する可能性があるので、長期間貯蔵した混和剤は使用してはならない。</p> <p>9. 受注者は、貯蔵中に吸湿により固結した混和材、その他異常を認めた混和材の使用にあたって、これを用いる前に試験を行い、その品質を確かめなければならない。ただし、保管期間が長期にわたると品質が変動する可能性があるので、長期間貯蔵した混和剤は使用してはならない。</p> <p><b>2-6-2 セメント</b></p> <p>3. 普通ポルトランドセメントの品質は、表2-19の規格に適合するものとする。</p>

ページ	(旧：令和3年4月版)	(新：令和4年4月版)																																																																																						
2-20	<p style="text-align: center;"><b>表2-19 普通ポルトランドセメントの品質</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">品 質</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 40%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>比 表 面 積 (cm<sup>2</sup>/g)</td> <td>2,500 以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凝 結 (h)</td> <td>始発</td> <td>1 以上</td> </tr> <tr> <td>終結</td> <td>10 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">安 定 性</td> <td>パット法</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>ルシャチリエ法 (mm)</td> <td>10 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">圧 縮 強 さ (N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>3 d</td> <td>12.5 以上</td> </tr> <tr> <td>7 d</td> <td>22.5 以上</td> </tr> <tr> <td>28d</td> <td>42.5 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 和 熱 (J/g)</td> <td>7 d</td> <td style="color: blue;">350 以下</td> </tr> <tr> <td>28d</td> <td style="color: blue;">400 以下</td> </tr> <tr> <td>酸 化 マ グ ネ シ ウ ム (%)</td> <td>5.0 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三 酸 化 硫 黄 (%)</td> <td>3.5 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>強 熱 減 量 (%)</td> <td>5.0 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全アルカリ (Na<sub>2</sub>Oeq) (%)</td> <td>0.75 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩 化 物 イ オ ン (%)</td> <td>0.035 以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 普通ポルトランドセメント（低アルカリ形）については、全アルカリ(Na<sub>2</sub>Oeq)の値を 0.6%以下とする。</p> <p><b>2-6-3 混和材料</b></p> <p>5. 急結剤は、「コンクリート標準示方書（規準編）JSCE-D 102-2013 吹付けコンクリート（モルタル）用急結剤品質規格（案）」（土木学会）の規格に適合するものとする。</p> <p><b>第7節 セメントコンクリート製品</b></p> <p><b>2-7-1 一般事項</b></p> <p>3. 受注者は、セメントコンクリート製品の使用にあたって「アルカリ骨材反応抑制対策について」（国土交通大臣官房技術審議官通達 平成 14 年 7 月 31 日）及び「アルカリ骨材反応抑制対策について」の運用について（国土交通省大臣官房技術調査課長通達 平成 14 年 7 月 31 日）を遵守し、アルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認した資料を監督員に提出しなければならない。</p>	品 質	規 格		比 表 面 積 (cm <sup>2</sup> /g)	2,500 以上		凝 結 (h)	始発	1 以上	終結	10 以下	安 定 性	パット法	良	ルシャチリエ法 (mm)	10 以下	圧 縮 強 さ (N/mm <sup>2</sup> )	3 d	12.5 以上	7 d	22.5 以上	28d	42.5 以上	水 和 熱 (J/g)	7 d	350 以下	28d	400 以下	酸 化 マ グ ネ シ ウ ム (%)	5.0 以下		三 酸 化 硫 黄 (%)	3.5 以下		強 熱 減 量 (%)	5.0 以下		全アルカリ (Na <sub>2</sub> Oeq) (%)	0.75 以下		塩 化 物 イ オ ン (%)	0.035 以下		<p style="text-align: center;"><b>表2-19 普通ポルトランドセメントの品質</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">品 質</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 40%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>比 表 面 積 (cm<sup>2</sup>/g)</td> <td>2,500 以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凝 結 (h)</td> <td>始発</td> <td>1 以上</td> </tr> <tr> <td>終結</td> <td>10 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">安 定 性</td> <td>パット法</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>ルシャチリエ法 (mm)</td> <td>10 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">圧 縮 強 さ (N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>3 d</td> <td>12.5 以上</td> </tr> <tr> <td>7 d</td> <td>22.5 以上</td> </tr> <tr> <td>28d</td> <td>42.5 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 和 熱 (J/g)</td> <td>7 d</td> <td style="color: red;">測定値を報告する</td> </tr> <tr> <td>28d</td> <td style="color: red;">測定値を報告する</td> </tr> <tr> <td>酸 化 マ グ ネ シ ウ ム (%)</td> <td>5.0 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三 酸 化 硫 黄 (%)</td> <td>3.5 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>強 熱 減 量 (%)</td> <td>5.0 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全アルカリ (Na<sub>2</sub>Oeq) (%)</td> <td>0.75 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩 化 物 イ オ ン (%)</td> <td>0.035 以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 普通ポルトランドセメント（低アルカリ形）については、全アルカリ(Na<sub>2</sub>Oeq)の値を 0.6%以下とする。</p> <p><b>2-6-3 混和材料</b></p> <p>5. 急結剤は、「コンクリート標準示方書（規準編）JSCE-D 102-2018 吹付けコンクリート（モルタル）用急結剤品質規格（案）」（土木学会）の規格に適合するものとする。</p> <p><b>第7節 セメントコンクリート製品</b></p> <p><b>2-7-1 一般事項</b></p> <p>3. 受注者は、セメントコンクリート製品の使用にあたって「アルカリ骨材反応抑制対策について」（国土交通大臣官房技術審議官通達 平成 14 年 7 月 31 日）及び「アルカリ骨材反応抑制対策について」の運用について（国土交通省大臣官房技術調査課長通達 平成 14 年 7 月 31 日）を遵守し、アルカリシリカ反応抑制対策の適合を確認した資料を監督員に提出しなければならない。</p>	品 質	規 格		比 表 面 積 (cm <sup>2</sup> /g)	2,500 以上		凝 結 (h)	始発	1 以上	終結	10 以下	安 定 性	パット法	良	ルシャチリエ法 (mm)	10 以下	圧 縮 強 さ (N/mm <sup>2</sup> )	3 d	12.5 以上	7 d	22.5 以上	28d	42.5 以上	水 和 熱 (J/g)	7 d	測定値を報告する	28d	測定値を報告する	酸 化 マ グ ネ シ ウ ム (%)	5.0 以下		三 酸 化 硫 黄 (%)	3.5 以下		強 熱 減 量 (%)	5.0 以下		全アルカリ (Na <sub>2</sub> Oeq) (%)	0.75 以下		塩 化 物 イ オ ン (%)	0.035 以下	
品 質	規 格																																																																																							
比 表 面 積 (cm <sup>2</sup> /g)	2,500 以上																																																																																							
凝 結 (h)	始発	1 以上																																																																																						
	終結	10 以下																																																																																						
安 定 性	パット法	良																																																																																						
	ルシャチリエ法 (mm)	10 以下																																																																																						
圧 縮 強 さ (N/mm <sup>2</sup> )	3 d	12.5 以上																																																																																						
	7 d	22.5 以上																																																																																						
	28d	42.5 以上																																																																																						
水 和 熱 (J/g)	7 d	350 以下																																																																																						
	28d	400 以下																																																																																						
酸 化 マ グ ネ シ ウ ム (%)	5.0 以下																																																																																							
三 酸 化 硫 黄 (%)	3.5 以下																																																																																							
強 熱 減 量 (%)	5.0 以下																																																																																							
全アルカリ (Na <sub>2</sub> Oeq) (%)	0.75 以下																																																																																							
塩 化 物 イ オ ン (%)	0.035 以下																																																																																							
品 質	規 格																																																																																							
比 表 面 積 (cm <sup>2</sup> /g)	2,500 以上																																																																																							
凝 結 (h)	始発	1 以上																																																																																						
	終結	10 以下																																																																																						
安 定 性	パット法	良																																																																																						
	ルシャチリエ法 (mm)	10 以下																																																																																						
圧 縮 強 さ (N/mm <sup>2</sup> )	3 d	12.5 以上																																																																																						
	7 d	22.5 以上																																																																																						
	28d	42.5 以上																																																																																						
水 和 熱 (J/g)	7 d	測定値を報告する																																																																																						
	28d	測定値を報告する																																																																																						
酸 化 マ グ ネ シ ウ ム (%)	5.0 以下																																																																																							
三 酸 化 硫 黄 (%)	3.5 以下																																																																																							
強 熱 減 量 (%)	5.0 以下																																																																																							
全アルカリ (Na <sub>2</sub> Oeq) (%)	0.75 以下																																																																																							
塩 化 物 イ オ ン (%)	0.035 以下																																																																																							
2-20																																																																																								
2-21																																																																																								

ページ	(旧：令和3年4月版)	(新：令和4年4月版)																														
2-26	<p><b>第12節 道路標識及び区画線</b>  <b>2-12-1 道路標識</b></p> <p>標識板、支柱、補強材、取付金具、反射シートの品質は、以下の規格に適合するものとする。</p> <p>(1) 標識板</p> <p>JIS G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)  JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)  JIS K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板)  JIS H 4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)  JIS K 6718-1 (プラスチック—メタクリル樹脂板—タイプ、寸法及び特性—第1部：キャスト板)  JIS K 6718-2 (プラスチック—メタクリル樹脂板—タイプ、寸法及び特性—第2部：押出板)  ガラス繊維強化プラスチック板 (F. R. P)</p> <p>(2) 支柱</p> <p>JIS G 3452 (配管用炭素鋼鋼管)  JIS G 3444 (一般構造用炭素鋼鋼管)  JIS G 3192 (熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量、及びその許容差)  JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材)</p> <p>(追記)  (追記)</p>	<p><b>第12節 道路標識及び区画線</b>  <b>2-12-1 道路標識</b></p> <p>標示板、支柱、補強材、取付金具、反射シートの品質は、以下の規格に適合するものとする。</p> <p>(1) 標示板</p> <p>JIS G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)  JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)  JIS K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板)  JIS H 4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)  JIS K 6718-1 (プラスチック—メタクリル樹脂板—タイプ、寸法及び特性—第1部：キャスト板)  JIS K 6718-2 (プラスチック—メタクリル樹脂板—タイプ、寸法及び特性—第2部：押出板)  ガラス繊維強化プラスチック板 (F. R. P)</p> <p>(2) 支柱</p> <p>JIS G 3452 (配管用炭素鋼鋼管)  JIS G 3444 (一般構造用炭素鋼鋼管)  JIS G 3192 (熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量、及びその許容差)  JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材)  <b>JIS G 3106 (溶接構造用圧延鋼材)</b>  <b>JIS G 3136 (建築構造用圧延鋼材)</b></p>																														
2-30	<p><b>第13節 その他</b>  <b>2-13-3 止水板</b></p> <p>1. ゴム製止水板の形状・寸法は JIS K 6773 塩化ビニール樹脂製止水板に準じるとし、良質な硬質ゴムで、主原料は天然ゴム又はブタジエンゴムとスチレンゴムの重合体もしくは混合物でなければならない。製品には主原料を質量で70%以上含み、ファクテス又は再生ゴムを含んではならない。</p> <p>規格は表2-41によるものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表2-41 ゴム製止水板の規格</b></p> <table border="1" data-bbox="480 1423 1400 1726"> <thead> <tr> <th>硬 度</th> <td>65±5度</td> <td>JIS K 6301</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>引 張 り 強 さ</th> <td>25N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>JIS K 6301 (20℃+10℃) 縦横ともに満足すること。</td> </tr> <tr> <th>破 断 時 の 伸 び</th> <td>500%以上</td> <td>引張速度 500±25 mm/min</td> </tr> <tr> <th>ひ き さ き 強 度</th> <td>12N/mm<sup>2</sup></td> <td>JIS K 6301 9B型に準拠する。 引張速度 500±25 mm/min</td> </tr> <tr> <th>比 重</th> <td>1.13±0.03</td> <td>JIS K 6350</td> </tr> </tbody> </table>	硬 度	65±5度	JIS K 6301	引 張 り 強 さ	25N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6301 (20℃+10℃) 縦横ともに満足すること。	破 断 時 の 伸 び	500%以上	引張速度 500±25 mm/min	ひ き さ き 強 度	12N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6301 9B型に準拠する。 引張速度 500±25 mm/min	比 重	1.13±0.03	JIS K 6350	<p><b>第13節 その他</b>  <b>2-13-3 止水板</b></p> <p>1. ゴム製止水板の形状・寸法は JIS K 6773 ポリ塩化ビニル止水板に準じるとし、良質な硬質ゴムで、主原料は天然ゴム又はブタジエンゴムとスチレンゴムの重合体もしくは混合物でなければならない。製品には主原料を質量で70%以上含み、ファクテス又は再生ゴムを含んではならない。</p> <p>規格は表2-41によるものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表2-41 ゴム製止水板の規格</b></p> <table border="1" data-bbox="1668 1423 2588 1726"> <thead> <tr> <th>硬 度</th> <td>65±5度</td> <td>JIS K 6253</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>引 張 り 強 さ</th> <td>25N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>JIS K 6251 (23℃+2℃) 縦横ともに満足すること。</td> </tr> <tr> <th>破 断 時 の 伸 び</th> <td>500%以上</td> <td>引張速度 500±25 mm/min</td> </tr> <tr> <th>ひ き さ き 強 度</th> <td>12N/mm<sup>2</sup></td> <td>JIS K 6252 引張速度 500±25 mm/min</td> </tr> <tr> <th>比 重</th> <td>1.13±0.03</td> <td>JIS K 6350</td> </tr> </tbody> </table>	硬 度	65±5度	JIS K 6253	引 張 り 強 さ	25N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6251 (23℃+2℃) 縦横ともに満足すること。	破 断 時 の 伸 び	500%以上	引張速度 500±25 mm/min	ひ き さ き 強 度	12N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6252 引張速度 500±25 mm/min	比 重	1.13±0.03	JIS K 6350
硬 度	65±5度	JIS K 6301																														
引 張 り 強 さ	25N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6301 (20℃+10℃) 縦横ともに満足すること。																														
破 断 時 の 伸 び	500%以上	引張速度 500±25 mm/min																														
ひ き さ き 強 度	12N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6301 9B型に準拠する。 引張速度 500±25 mm/min																														
比 重	1.13±0.03	JIS K 6350																														
硬 度	65±5度	JIS K 6253																														
引 張 り 強 さ	25N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6251 (23℃+2℃) 縦横ともに満足すること。																														
破 断 時 の 伸 び	500%以上	引張速度 500±25 mm/min																														
ひ き さ き 強 度	12N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6252 引張速度 500±25 mm/min																														
比 重	1.13±0.03	JIS K 6350																														

ページ	(旧：令和3年4月版)	(新：令和4年4月版)																																																															
2-31	<p>樋管本体(追記)に設ける場合の止水板の規格は表2-42によるものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表2-42 止水板の規格</b></p> <table border="1" data-bbox="477 382 1403 525"> <tr> <td>硬 度</td> <td>65±5度</td> <td>JIS K 6301</td> </tr> <tr> <td>引張り強さ</td> <td>25N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>JIS K 6301</td> </tr> <tr> <td>伸 び</td> <td>350%以上</td> <td>JIS K 6301</td> </tr> </table> <p>2. 砂防えん堤で使用する止水板は、センターバルブ・コンゲート型で塩化ビニール製品巾30cm厚さ7mm以上とする。 (追記)</p> <p>(追記)</p> <p><b>2-13-4 路盤紙</b></p> <p>2. 品質は表2-43を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表2-43 路盤紙の規格</b></p> <table border="1" data-bbox="516 1362 1365 1551"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>呼び厚さ0.1mm以上のもの</td> </tr> <tr> <td>ターポリン紙</td> <td>JIS Z 1503</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラフト紙</td> <td>JIS P 3401</td> <td>MS-81、84</td> </tr> </tbody> </table>	硬 度	65±5度	JIS K 6301	引張り強さ	25N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6301	伸 び	350%以上	JIS K 6301	品 名	規格	備考	ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	呼び厚さ0.1mm以上のもの	ターポリン紙	JIS Z 1503		クラフト紙	JIS P 3401	MS-81、84	<p>樋管本体の継手に設ける場合の止水板の規格は表2-42によるものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表2-42 止水板の規格</b></p> <table border="1" data-bbox="1668 382 2594 525"> <tr> <td>硬 度</td> <td>65±5度</td> <td>JIS K 6253</td> </tr> <tr> <td>引張り強さ</td> <td>15N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>JIS K 6251</td> </tr> <tr> <td>伸 び</td> <td>350%以上</td> <td>JIS K 6251</td> </tr> </table> <p>2. 砂防えん堤で使用する止水板は、センターバルブ・コンゲート型で塩化ビニール製品巾30cm厚さ7mm以上とする。</p> <p>3. 鋼製伸縮継手で使用する止水ゴムパッキン(クロロプレンゴム)の性状は表2-43によるものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表2-43 止水ゴムパッキンの規格</b></p> <table border="1" data-bbox="1668 821 2594 1152"> <tr> <td>硬 度</td> <td>60±5度</td> <td>JIS K 6253</td> </tr> <tr> <td>引張り強さ</td> <td>12000KN/m<sup>2</sup>以上</td> <td>JIS K 6251</td> </tr> <tr> <td>伸 び</td> <td>400%以上</td> <td>JIS K 6251</td> </tr> <tr> <td>老 化 試 験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>引張り強さ変化率</td> <td>-20%以上</td> <td>JIS K 6257 100℃×70h</td> </tr> <tr> <td>伸 び 変 化 率</td> <td>-30%以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧縮永久ひずみ率</td> <td>45%以下</td> <td>JIS K 6262の10 100℃×70h</td> </tr> </table> <p><b>2-13-4 路盤紙</b></p> <p>2. 品質は表2-44を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表2-44 路盤紙の規格</b></p> <table border="1" data-bbox="1706 1352 2555 1541"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>呼び厚さ0.1mm以上のもの</td> </tr> <tr> <td>ターポリン紙</td> <td>JIS Z 1503</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラフト紙</td> <td>JIS P 3401</td> <td>MS-81、84</td> </tr> </tbody> </table>	硬 度	65±5度	JIS K 6253	引張り強さ	15N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6251	伸 び	350%以上	JIS K 6251	硬 度	60±5度	JIS K 6253	引張り強さ	12000KN/m <sup>2</sup> 以上	JIS K 6251	伸 び	400%以上	JIS K 6251	老 化 試 験			引張り強さ変化率	-20%以上	JIS K 6257 100℃×70h	伸 び 変 化 率	-30%以上		圧縮永久ひずみ率	45%以下	JIS K 6262の10 100℃×70h	品 名	規格	備考	ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	呼び厚さ0.1mm以上のもの	ターポリン紙	JIS Z 1503		クラフト紙	JIS P 3401	MS-81、84
硬 度	65±5度	JIS K 6301																																																															
引張り強さ	25N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6301																																																															
伸 び	350%以上	JIS K 6301																																																															
品 名	規格	備考																																																															
ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	呼び厚さ0.1mm以上のもの																																																															
ターポリン紙	JIS Z 1503																																																																
クラフト紙	JIS P 3401	MS-81、84																																																															
硬 度	65±5度	JIS K 6253																																																															
引張り強さ	15N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6251																																																															
伸 び	350%以上	JIS K 6251																																																															
硬 度	60±5度	JIS K 6253																																																															
引張り強さ	12000KN/m <sup>2</sup> 以上	JIS K 6251																																																															
伸 び	400%以上	JIS K 6251																																																															
老 化 試 験																																																																	
引張り強さ変化率	-20%以上	JIS K 6257 100℃×70h																																																															
伸 び 変 化 率	-30%以上																																																																
圧縮永久ひずみ率	45%以下	JIS K 6262の10 100℃×70h																																																															
品 名	規格	備考																																																															
ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	呼び厚さ0.1mm以上のもの																																																															
ターポリン紙	JIS Z 1503																																																																
クラフト紙	JIS P 3401	MS-81、84																																																															